

- 問1 縄文時代の人々が、食物の豊作や子孫の繁栄、あるいは病気や怪我の治癒などを願うための信仰として用いた、女性をかたどった土製の像を何と呼びますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 埴輪                                      2. 銅鐸                                      3. 石包丁                                      4. 土偶
- 問2 縄文時代の遺跡において、海岸や水辺に近い集落付近で見つかる、食べた後の貝殻や魚の骨、破損した土器などが堆積した場所を何といいますか。当時の人々の「ゴミ捨て場」としての性格を持ち、生活の痕跡（生活跡）を現代に伝えるものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. 高床倉庫                                      2. 環濠集落                                      3. 古墳                                      4. 貝塚
- 問3 縄文時代につくられた素焼きの人形で、豊かな収穫や病気の回復、魔除けなどを祈るために用いられたとされる遺物を何といいますか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. 土偶                                      2. 銅鐸                                      3. 埴輪                                      4. 石包丁
- 問4 縄文時代の人々の生活や文化について、食料の確保方法とその際に用いられた道具の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選んでください。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 狩りや採集で得た食料を煮炊きしたり保存したりするために、縄目などの文様がついた土器が用いられた。
2. 牛馬を利用した耕作や二毛作が広まり、収穫した作物を都市の市場で売買する生活が一般的となった。
3. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を使い、大規模な開墾を行うことで、余剰生産物を蓄えるようになった。
4. 本格的な稲作が始まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や、祭祀のための銅鐸が用いられた。
- 問5 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. 渡来人                                      2. 琉球民族                                      3. 蝦夷（えみし）                                      4. アイヌ民族
- 問6 約1万年以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた
2. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた
3. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された
4. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した
- 問7 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた
2. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた
3. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた
4. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた
- 問8 約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された
2. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた
3. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった
4. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった
- 問9 ある中学生が地元の歴史博物館で調べた内容をまとめた報告書の中で、「市内で発掘された、表面に縄を転がしたような模様がある土器」について記述しています。一万数千年前から紀元前数世紀まで続き、このような土器を使って狩猟・採集・漁労を主とする生活が行われていた時代を何といいますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 旧石器時代                                      2. 縄文時代                                      3. 弥生時代                                      4. 古墳時代
- 問10 縄文時代において、人々が定住生活を送る中で作り出した遺物のうち、表面に縄目の文様が見られることが多く、食物を煮たり保存したりするために活用された道具の名称とその特徴として適切なものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 薄手で赤褐色をしており、文様が少なく実用的な弥生土器
2. 古墳の頂上や周囲に並べられた、人物や馬の形をした埴輪
3. 高温で焼かれた灰色で硬い、貯蔵用の須恵器
4. 厚手で黒褐色をしており、低温で焼かれた縄文土器
- 問11 縄文時代の遺跡からは、女性をかたどったとされる土偶など、当時の精神文化を反映した遺物が多く発見されています。これらの遺物が作られた目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 自然の恵みに感謝し、食べ物の豊かさや安産などを祈るために作られた
2. 大陸との交易において、有力者が自分の富や権力を誇示するために作られた
3. 身分の高い人物が亡くなった際、その墓である古墳に副葬品として納めるために作られた
4. 稲作が普及し、収穫した米を保存するためのまじないとして作られた
- 問12 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 勾玉 ― 魔除けや身分を示す装飾品とするため
2. 土偶 ― 豊かな収穫や安産を祈るため
3. 埴輪 ― 亡くなった王の権威を示し、供養するため
4. 銅鐸 ― 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため
- 問13 日本の歴史において、縄文時代に定住生活が始まり、生活が安定する中で普及した、表面をみがいて形を整えた石器を何と呼びますか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 鉄器                                      2. 磨製石器                                      3. 青銅器                                      4. 打製石器
- 問14 縄文時代の遺跡から発見される、人間を模した土製品（土偶）に関する記述として、当時の人々の暮らしや考え方を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である
2. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された
3. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された
4. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である